
IS ACfa風のタンク乗り

カナリヤ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS ACfa風のタンク乗り

【Nコード】

N8417U

【作者名】

カナリヤ

【あらすじ】

思い付きで書いた1200字程度の短編。

ISxACfaの有名な？タンクの武装。

なぜか、セシリアと戦っています。

そんなに良ければ、見てください。

(前書き)

いきなり戦闘

ず無い。だが、タンク型ISはそれを何度も行っており、そのつどに戦い方を微妙に変化させている。そして今回の武装はグレネードであった。どこその社長よろしく面制圧用の装備である。ガトリングの使用を片方だけにして、今度は当たり易いように接近しつつガトリングとグレネード連射をする。基本は正面からの制圧、これは譲れないタンクであった。

もちろんセシリアが接近を許すはずも、グレネードにあたるようなヘマはしない。元々遠距離型なのだからその辺りは心得ている。それでも、予想外の事は起こるのだが……

ドーン！！！！

撃ちだされたグレネードとガトリングの弾が接触し、セシリアとタンクの間には爆風と煙をまき散らす。ソレによってセシリアに致命的な隙が出来る。尤も、それを確認する前に果敢（無謀とも言う）にも煙に突っ込むのを気にせずに、セシリアとの距離を最短で縮めべく、タンクだけに積まれているオーバードブーストを起動させる。元来出せ無いようなスピードを無理矢理出すので扱いが難しいが、直進するだけな猿でもできる。誤算があったとすれば、本当に最短距離を進んでいて、IS同士が衝突した事だろう。

「あ……………やはり、弱者は信用できんな……………」

一瞬止まったが、決闘はまだ終わってなかった。タンクはぶつかった衝撃で体制を整えられてないセシリアに容赦の無いガトリングとグレネードの洗礼を浴びせた。

「なんとこの事を……………」

どこぞの世界最強がそんなこと言ってたが、聞こえるはずも無く、

セシリアのISブルーティアーズは直すより作った方が早いと言われ
るくらいに破壊された。

(後書き)

前書いた2つの短編同様に続きを書く予定は無し。

どこかにアーマードコアシリーズのタンクを愛している人が、こんなを書いてくれると読むんだけどな……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8417u/>

IS ACfa風のタンク乗り

2011年10月9日02時58分発行